

トヨタ純正 リヤフォグランプ

取付要領書

このたびはトヨタ純正リヤフォグランプをお買い上げいただきありがとうございます。
本書はリヤフォグランプの取り付け要領について記載してあります。取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。別紙の「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。

品 番

81045 - B1120

構成部品

リヤフォグランプセット			
No.	品 名	品 番	個数
①	リヤフォグランプASSY	81480-B1080	1
	リヤフォグランプ	—	1
	スクリュー	—	2
②	ブラケットA	81216-B1100	1
③	ブラケットB	81481-B1210	1
④	リヤフォグランプスイッチ	84165-B1050	1
⑤	リレー	90049-88004	1
⑥	リヤフォグランプハーネス	81935-B1020	1
⑦	ホルダーランプ	—	1
⑧	クランプ	—	1
⑨	取付要領書	—	1
⑩	取扱書	—	1
補給品	バルブ	99132-11210-760	1

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

⚠ 警告 ……警告事項を守らないと生命の危険、または重大な傷害につながる恐れがあることを記載しています

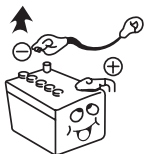
⚠ 注意 ……注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがあることを記載しています

🔊 アドバイス ……スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

- (1) 車両を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
- (2) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時に間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- (3) バルブに油が付きますとバルブ寿命を短くしますので、取り扱い時には布手袋を着用してください。また、ランプ消灯直後のバルブ交換は高熱のため、必ず布手袋を着用してください。
- (4) 付属（指定）のランプ、スイッチ、リレー、ハーネス等を改造したり、指定以外のバルブを使用しますと、車両火災等重大事故の原因となることがあります。
- (5) 車両との接続は、専用コネクター等の接続端子を使って、確実に接続してください。車両火災等の原因となることがあります。
- (6) バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。
- (7) ホルダー・クランプ等の取り付け面に油脂分や汚れが付いてますと脱落、剥がれの原因になりますので、脱脂剤等で十分に拭き取り、また火気を近づけないよう充分に注意してください。
- (8) 車両部品の脱着及び車両への取り付け時の傷付き防止の為、必ず保護シートの上で作業を行ってください。

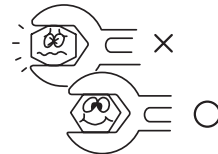
取り付ける前に

- バッテリーの（－）側ケーブルをはずす

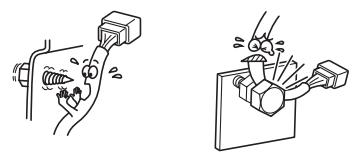


部品の取り付けは

- 寸法にあった工具を使う

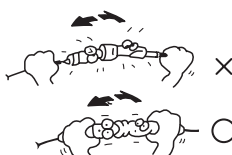


- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みには注意する



配線は

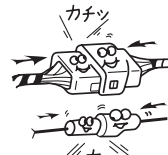
- コネクターは本体を持ってははずす



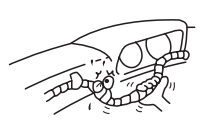
- 車両ハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する



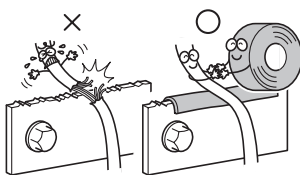
- コネクターは確実に接続する



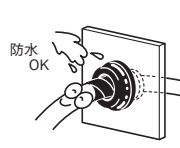
- 無理に引っ張らない



- バリ・エッジ部は保護シート等で保護する



- グロメットから配線する場合は、防水処理を完全にする



- 車両部品が確実に復元できるようハーネスを処理する



クランプは

- はだか線にはクランプしない
- 余った部分をカットする
- カットした末端が他のハーネスと接触しないように注意する
- コネクターを異音がないようにクランプする



取り付け完了後は

- 取りはずした車両部品は確実に復元する



⚠ 注意

- ・バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。
 - ・バッテリーの（－）側ケーブルをはずしてから、90秒間は作業を始めないでください。
- エアバッグシステムは、バックアップ電源を備えている為、90秒以内に作業を開始するとエアバッグが展開する可能性があります。

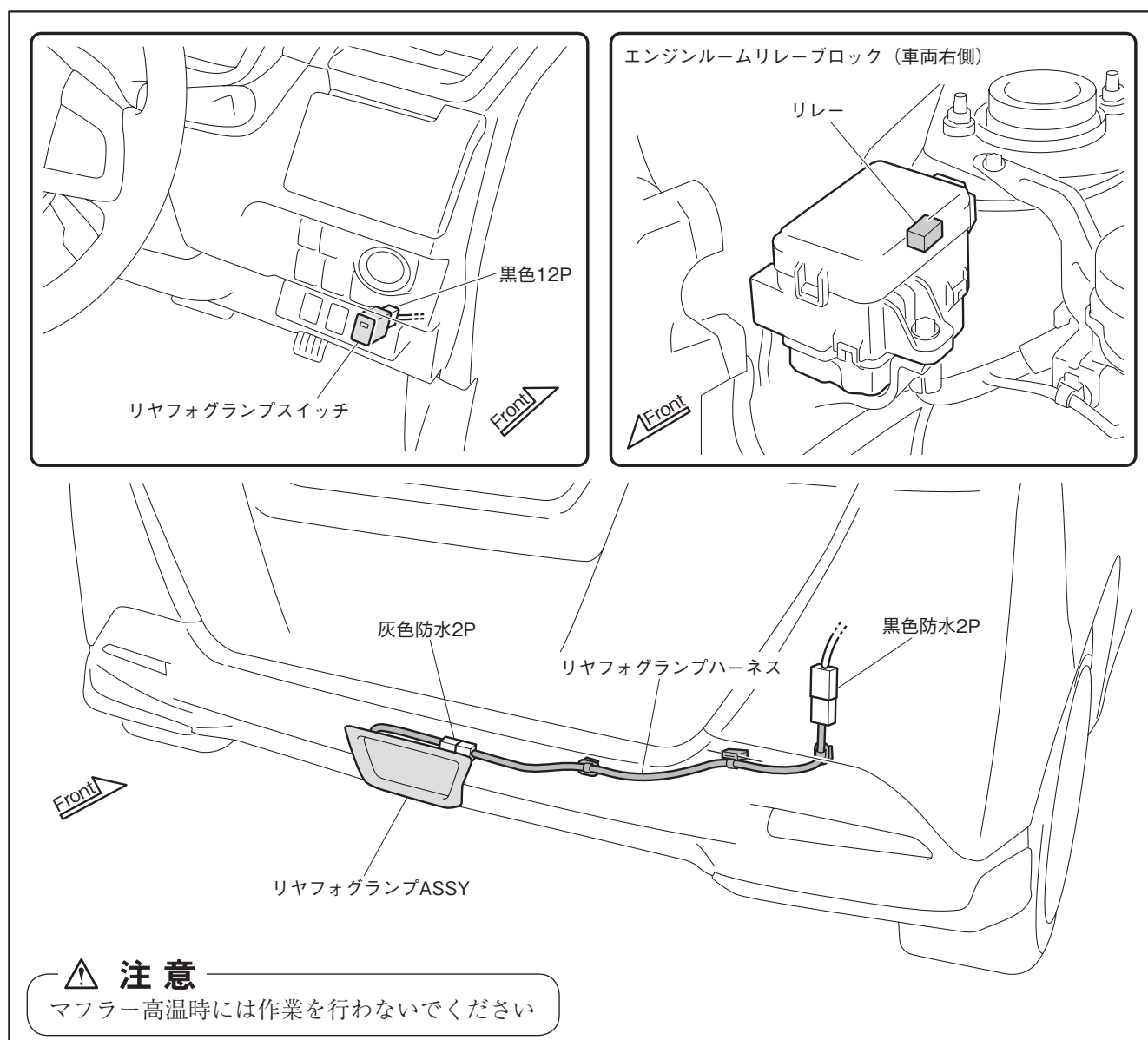
取り付けに必要な工具等

一般工具、樹脂リムーバー、クリップリムーバー、保護テープ、保護シート、ガムテープ、保護めがね、ケガキ針、電動ドリル（φ3、φ10）、エアソー、ヤスリ、サンドペーパー、脱脂剤等、ウエス、トヨタエレクトリカルテスター

始業点検

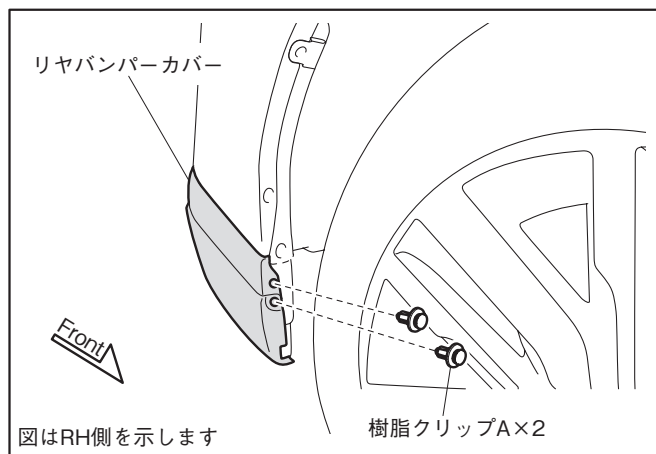
テールランプ等、電気系統の作動確認を実施してください。

概要図



KT-HA-002a

リヤバンパーカバーの取りはずし



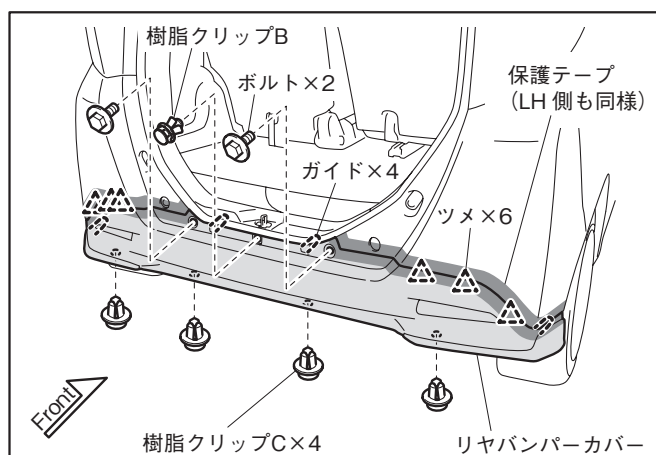
KT-HA-A01

リヤバンパーカバーの取りはずし

1. RH 側フェンダーライナーの樹脂クリップ A (2 個) をはずす。
2. LH 側も同様に作業する。

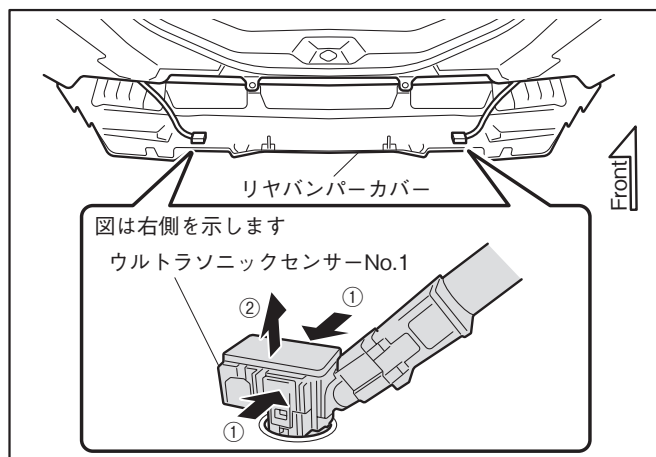
アドバイス

車両仕様により、リヤバンパーカバー形状が異なりますが、同様に作業してください。
(以降同様)



KT-HA-A02

3. 図中アミ掛け部に保護テープを貼り付ける。
4. ボルト (2 本)、樹脂クリップ B (1 個)、樹脂クリップ C (4 個) 及びツメ (6 箇所) の嵌合をはずし、リヤバンパーカバーを取りはずす。



KT-HA-A14

2026 年 8 月 31 日以降の車両のみ

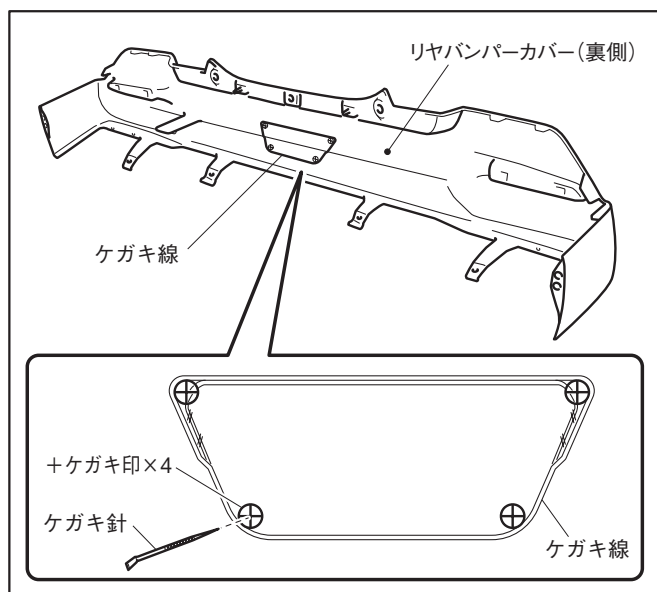
5. 図のようにリヤバンパーカバーからウルトラソニックセンサー No.1 を取りはずす (2 箇所)

注意

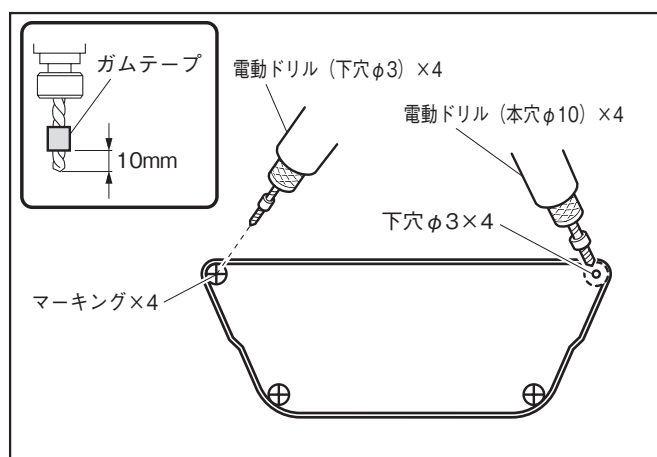
1. ウルトラソニックセンサー No.1 のコネクタを切り離さないでください。切り離した場合はソナー機能検査が必要になります。
2. リヤバンパーカバーから取りはずしたウルトラソニックセンサー No.1 をウェス等で保護してください。

リヤフォグランプ ASSY の取り付け

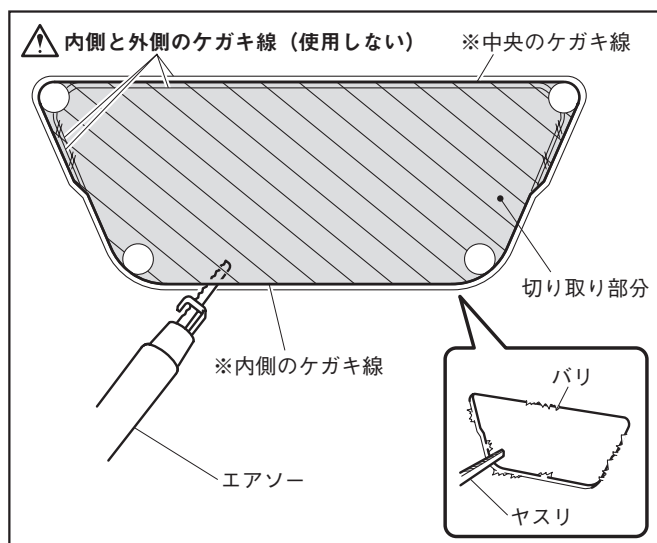
リヤスポイラー装着車両の場合は、リヤバンパーカバーの穴開け及び切り取り加工の際に傷付ける恐れがあるため、リヤスポイラーに保護テープを貼り付けて充分に注意して作業を行ってください。



KT-HA-A03



KT-HA-A04



KT-HA-A05

リヤバンパーカバーの加工

1. リヤバンパーカバー裏側の+ケガキ印 (4箇所) の中心にケガキ針でマーキングする。

⚠ 注意

車両部品傷付き防止の為、必ず保護シートの上で作業を行ってください。(以降同様)

👉アドバイス

+ケガキ印に塗装がかかり、ケガキ位置が確認しにくい場合は、サンドペーパー等で塗装を軽く取り除いてください。

2. 電動ドリル (φ3、φ10) にストッパーとなるようガムテープを巻き付ける。
3. 電動ドリルでマーキング (4箇所) に下穴 (φ3) を開ける。
4. 下穴 (4箇所) に電動ドリルで本穴 (φ10) を開ける。

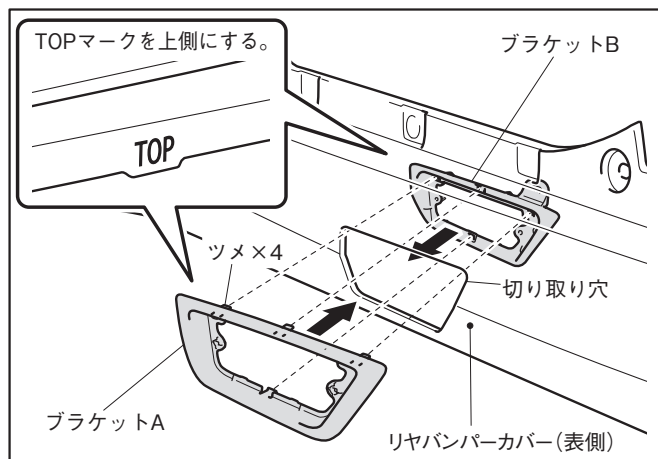
⚠ 注意

1. 電動ドリルを使用する際は、必ず保護めがねを着用してください。
2. 電動ドリルに手を巻き込まれる恐れがある為、手袋等は着用しないでください。
3. 穴開け作業は、リヤバンパーカバー面に対して垂直に行ってください。

5. リヤバンパーカバーの図中斜線部を、図中※ (太線) で示すケガキ線に沿ってエアソーで切り取る。
6. 切り取った穴のバリをヤスリで取り除く。

⚠ 注意

1. エアソーを使用する際は、必ず保護めがねを着用してください。
2. エアソーを使用する際は、リヤバンパーカバー面に対して垂直に刃を入れて作業を行ってください。
3. リヤフォグランプ取付後にガタつきが発生する恐れがありますので、必ず図中※ (太線) で示すケガキ線を越えないようにカットしてください。
4. バリ取り処理は必ず行ってください。バリ取りが不十分な場合、ブラケットが取り付けられない恐れがあります。

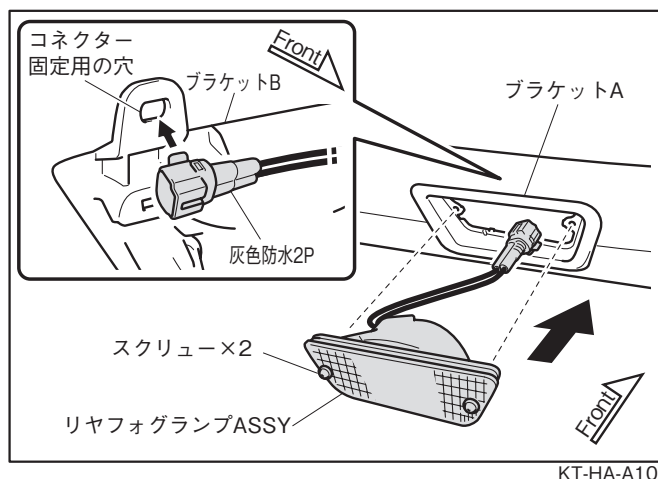


リヤフォグランプ ASSY の取り付け

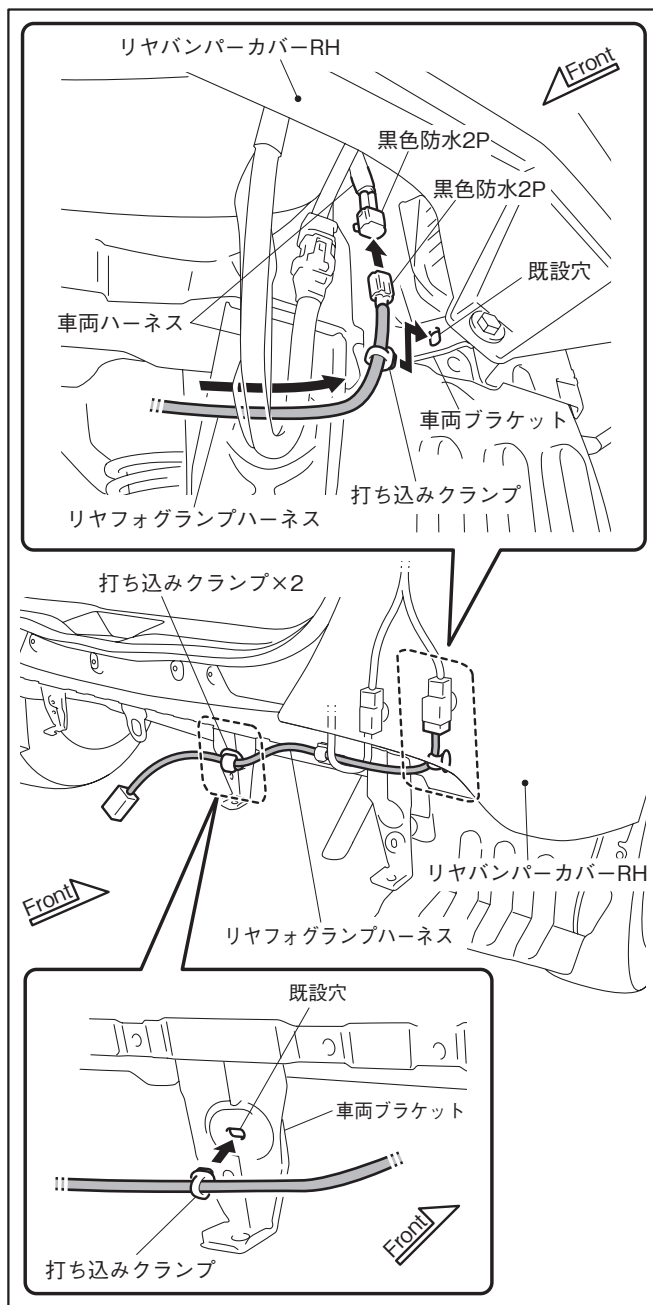
1. ブラケット A のツメ (4箇所) をブラケット B に嵌合させ、リヤバンパーカバーの切り取り穴に取り付ける。

👉アドバイス

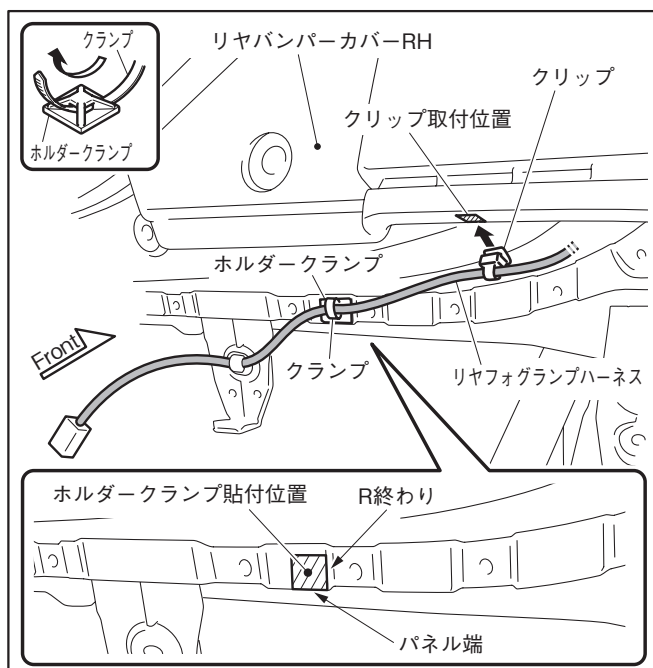
1. ブラケットの取り付け向きは、刻印を確認してください。ブラケット上側に“TOP”マークがあります。
2. ガタ・ユルミの無いよう、確実にツメを嵌合させて取り付けてください。



2. リヤフォグランプ ASSY をスクリー (2本) でブラケット A に取り付け。
3. リヤフォグランプの灰色防水 2P コネクターをブラケット B のコネクタ固定用の穴に取り付ける。



KT-HA-A11a



KT-HA-A12a

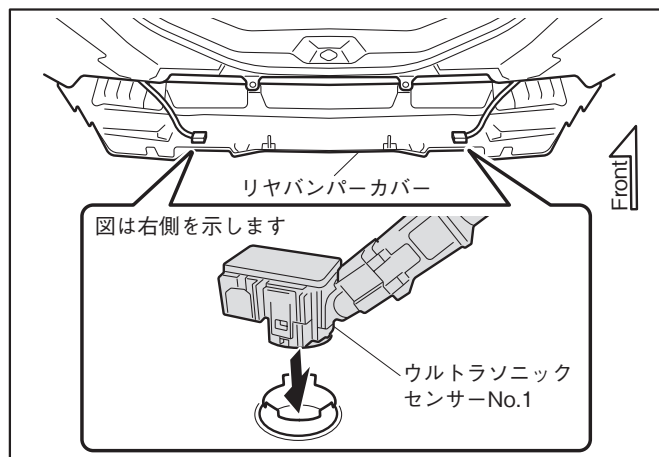
リヤフォグランプハーネスの配線

1. リヤフォグランプハーネスの黒色防水 2P コネクターを車両ハーネスの黒色防水 2P コネクターに接続する。
2. リヤフォグランプハーネスの打ち込みクランプ (2箇所) を車両ブラケットの既設穴に嵌合させる。

3. ホルダークランプをボデー平面部に貼り付けて、リヤフォグランプハーネスをクランプで仮固定する。
4. リヤフォグランプハーネスのクリップをリヤバンパーカバー RH に固定し、ハーネスの張り具合を確認しながらホルダークランプ部を締め付けて固定する。

👉アドバイス

リヤフォグランプハーネスにたるみができないようにクランプ及びクリップを固定してください。



KT-HA-A15

■ 2026 年 8 月 31 日以降の車両のみ ウルトラソニックセンサー No.1 の取付

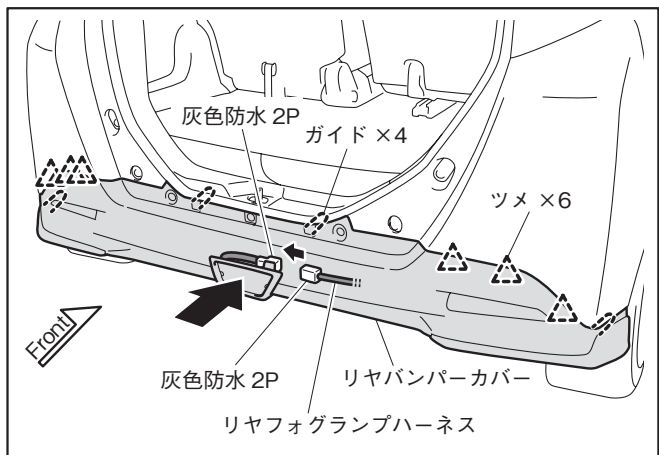
1. 図のようにリアバンパーカバーにウルトラソニックセンサー No.1 を取りつける (2 箇所)

⚠ 注意

ウルトラソニックセンサー No.1 のコネクタの向きを、図の向きに合わせてリアバンパーカバーの裏側から確実ににはめ込み、ツメがかん合していることを確認してください。

👉 アドバイス

図は右側を示しますが、左側も同様に作業を行ってください。



KT-HA-A13

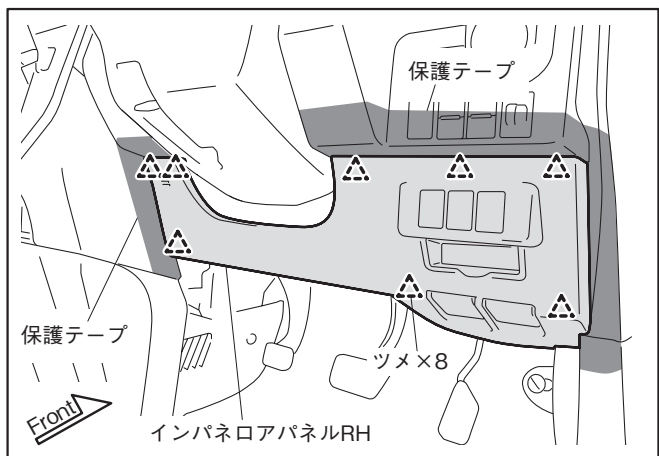
■ 共通 リアバンパーカバーの仮復元

1. リヤフォグランプ ASSY の灰色防水 2P コネクターをリアフォグランプハーネスの灰色防水 2P コネクターに接続し、リアバンパーカバーを車両に仮復元する。

⚠ 注意

リアバンパーカバー復元時、ボデー及びマフラー先端に擦る等して、リアバンパーカバーを傷付ける恐れがある為、注意して作業してください。

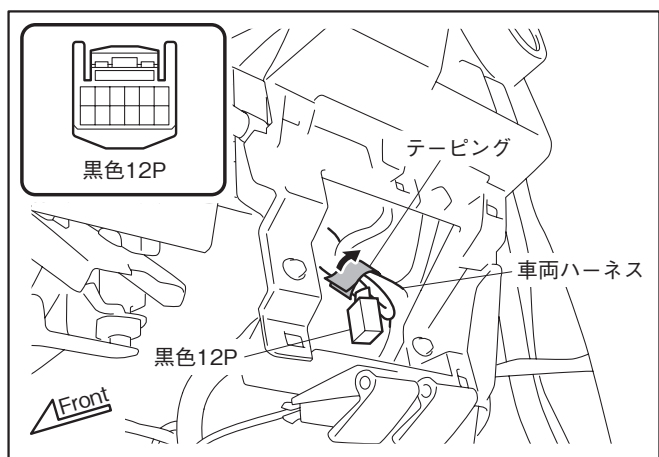
リヤフォグランプスイッチの取り付け



KT-HA-B01

インパネロアパネル RH の取りはずし

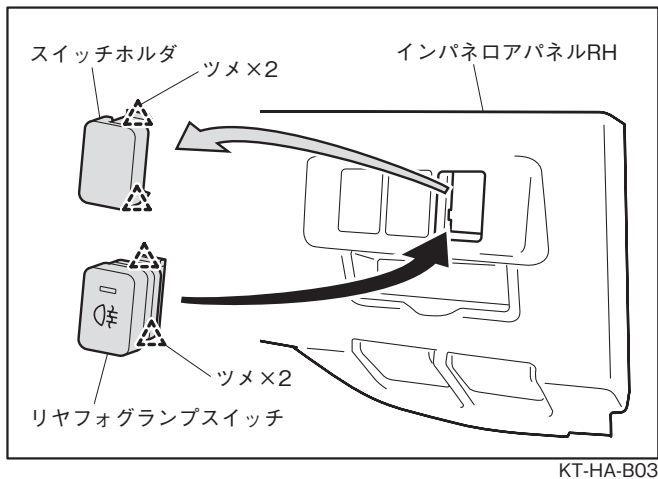
1. 図中アミ掛け部に保護テープを貼り付ける。
2. ツメ (8 箇所) の嵌合をはずし、インパネロアパネル RH を取りはずす。



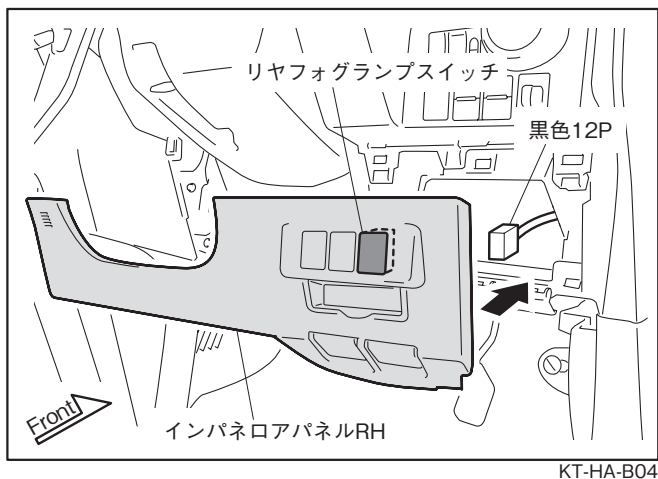
KT-HA-B02a

リヤフォグランプスイッチの取り付け

1. 車両ハーネスにテーピングされている黒色 12P コネクターを取り出す。

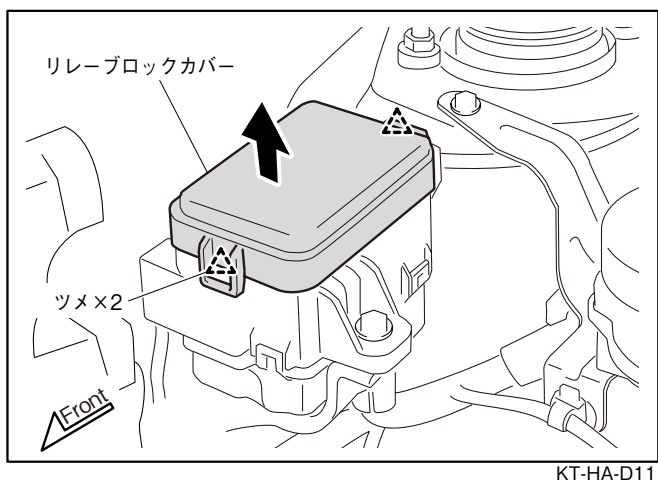


2. ツメ (2箇所) の嵌合をはずし、インパネロアパネル RH からスイッチホルダを取りはずす。
3. ツメ (2箇所) を嵌合させて、リヤフォグランプスイッチを取り付ける。



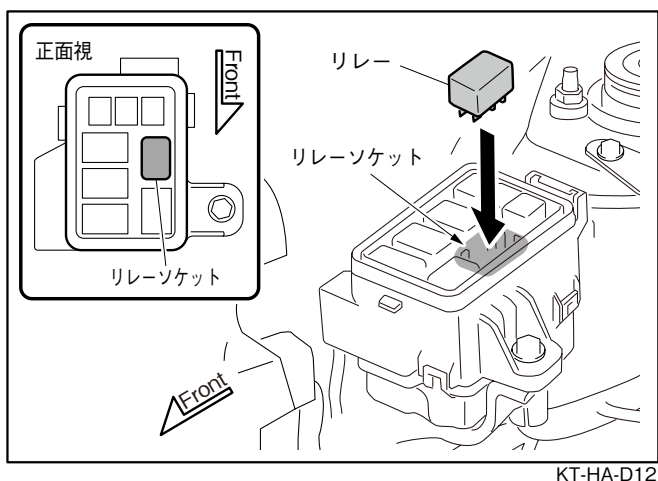
4. 黒色 12P コネクターをリヤフォグランプスイッチに接続する。
5. 各車両コネクターを接続し、インパネロアパネル RH を復元する。

リレーの取り付け



リレーの取り付け

1. ツメ (2箇所) の嵌合をはずし、エンジンルーム車両右側のリレーブロックカバーを取りはずす。



2. 図に示すリレーブロック内のリレーソケットに、リレーを取り付ける。
3. リレーブロックカバーを復元する。

作動確認

1. 配線や取り付けに異常がないか確認してください。
2. バッテリー（マイナス）端子を接続してください。
3. 下表に従い、作動状態の確認を行ってください。

⚠ 注意

点灯確認は、必ず車両を水平な場所に停車させパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行った上で作業してください。

<フロントフォグランプ付き車の場合（点灯条件）>※

確認順序	ヘッドランプ スイッチ	フォグランプ スイッチ	リヤフォグランプ スイッチ	リヤフォグランプ	インジケータ
①	OFF	OFF	ON	消灯	消灯
②		ON			
③	スモールランプ	OFF		消灯	消灯
④		ON			
⑤	ローまたは ハイビーム	OFF		点灯	点灯
⑥		ON			

※リヤフォグランプには点灯保持機能がある為、各点灯モード確認後にすべてのスイッチを一旦OFFにしてから次の確認を行ってください。

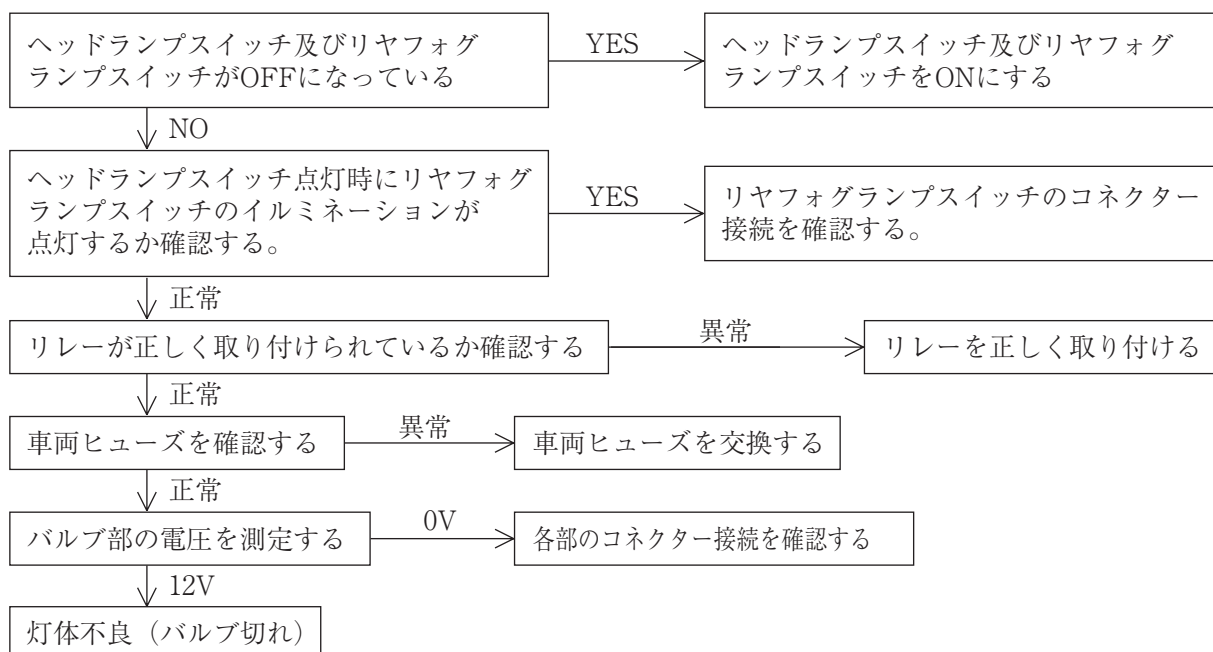
<フロントフォグランプ無し車の場合>※

確認順序	ヘッドランプ スイッチ	リヤフォグランプ スイッチ	リヤフォグランプ	インジケータ
①	OFF	ON	消灯	消灯
②	スモールランプ		消灯	消灯
③	ローまたは ハイビーム		点灯	点灯

※リヤフォグランプには点灯保持機能がある為、各点灯モード確認後にすべてのスイッチを一旦OFFにしてから次の確認を行ってください。

トラブルシュート

リヤフォグランプが点灯しない



復元作業

取りはずした車両部品を元通りに取り付けてください。

⚠ 注意

復元時に車両ハーネスを噛み込んだり、シャープなエッジに干渉したり、車両部品を破損させないように充分注意してください。

バッテリー復元時の注意事項

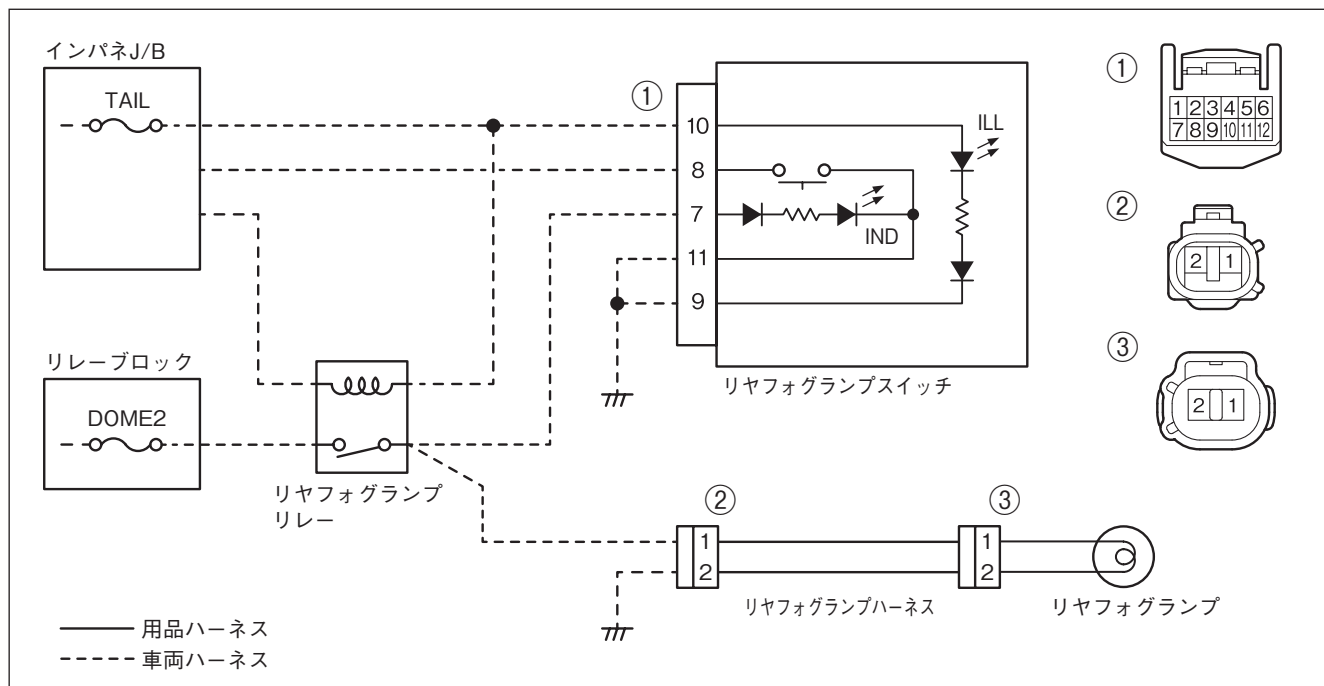
バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。

※車両システムの初期化には、GTS等のツールが必要な場合があります。

最終確認

1. ハーネス類の噛み込み及び、車両部品の取り付けミスがないかもう一度確認してください。
2. テールランプ等、電気系統に異常がないか確認してください。

配線図



取り付け店殿へのお願い

必ずお客様に操作要領を説明してください。